

令和7年度 ひきこもり支援実務研修 開催要領

1 目的

ひきこもりという課題や生きづらさを抱えた人の理解をどのように深めていくか学ぶことにより、各機関の支援及び連携を促進することを目的として開催する。

2 主催

山口県精神保健福祉センター

3 対象者

県内の保健、福祉関係機関等においてひきこもり相談支援に従事する職員
(保健所、市町保健センター、市町福祉関係課、福祉総合相談窓口、市町社会福祉協議会、地域包括支援センター、相談支援事業所、その他関係機関等)

4 日程及び内容

令和8年2月20日（金）10時00分～16時00分

※別紙（裏面）プログラムのとおり

5 会場

YMfg 維新セミナーパーク 大研修室（山口市秋穂二島1062）

6 定員

100名 ※申込は先着順で、定員に達し次第締め切ります

7 費用

無料

8 申込手続き

（1）申込方法

下記の受付フォームまたはQRコードからお申込みください。

<https://shinsei.pref.yamaguchi.lg.jp/IPaUDI0T>



（2）申込期限

令和8年1月22日（木）

（3）キャンセルについて

開催前日までに下記問い合わせ先にお電話でお願いします。

業務の都合や体調不良等でやむを得ず当日欠席する場合は、電話にてその旨お知らせください。

QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です

9 お問い合わせ先

山口県福祉総合相談支援センター内 精神保健福祉センター

〒753-0814 山口市吉敷下東4-17-1

TEL: 083-902-2672

令和7年度 ひきこもり支援実務研修 プログラム

○日 時 令和8年2月20日（金） 10時00分～16時00分

○会 場 YMfg 維新セミナーパーク（山口市秋穂二島 1062）

※受付時間は、9時30分からです。

○プログラム

時 間	内 容 等
10:00～	オリエンテーション
10:10～ 12:00	<p>【講義】 新たなひきこもりの理解と支援 ～『ひきこもり支援ハンドブック』を踏まえて考える～ 講師：白梅学園大学 名誉教授/NPO 法人つながる会 代表理事 social work lab MIRAI 代表/社会福祉士・精神保健福祉士 長谷川 俊雄 氏</p>
	(昼食・休憩)
13:00～ 16:00	<p>【演習】 事例研究は援助職の視点と支援を洗練させる ～はせがわメソッドで理解と解釈の広がりを育む～ 講師：長谷川 俊雄 氏 事例提供者：2名</p>
16:00	アンケート・事務連絡

<講師プロフィール> 長谷川 俊雄 氏

- ・行政のソーシャルワーカーとして勤務後、精神科クリニックのソーシャルワーカーへ転職した。不登校やひきこもりなどの思春期の「生きづらさ」や家族であることの「苦しさ」と向き合う日々を送る。その後、愛知県立大学の教員となり、生きづらさを抱えたこどもや若者との交流を続け、公的相談機関の求めに応じて本格的にスーパービジョンにも取り組む。
- ・2009年に「NPO 法人つながる会」を設立、2010年から白梅学園大学へ移籍し、2011年に地域活動支援センター「つながる café」、2023年にソーシャルワーク研究、援助職支援及び家族支援に取り組む「social work lab MIRAI」を川崎市に開設した。
- ・2025年1月に公表された、厚生労働省「ひきこもり支援ハンドブック」の策定に向けた調査研究事業の検討委員会・委員長を務めた。